

十字園だより

第125号



5月11日、寮行事でいちご狩りへ出かけました。

おまか、北区のタカギ農場でいちご狩り。真っ赤ないちごを職員と一緒に選び、美味しく頂きました。

昼食は梅の花にて食べました。お料理はどれも美味しいかったです。お間りで、皆さんあつという間に食べていました。

当田はあじいの雨模様でしたが、普段とは違った表情を沢山見ることができ、楽しい行事となりました。

(山田
(桃))

いぶき寮
いちじく狩り



園長挨拶



園長 古俣 健

常日頃より当施設の経営、運営につきまして、皆様から多大なご支援、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。十年前に、私がある研修で学んだ「経営理念なき会社(施設)に発展なし」という言葉が、ずっと私の心のなかに強く残っています。

今年度、法人の理念を基に十字園の理念を策定しました。

職員の幸福を第一に掲げている理由ですが、サービスを提供する我々が、まず十字園職員であるという誇り、幸せを感じていなければ、ご利用者、ご家族に心の込もつた最高の福祉サービスを提供することができますし、地域に貢献することもできないと考えているからです。

本事業では、西区・南区・西蒲区を担当地域としており、主なサービスとして、①電話による相談対応、②自宅への訪問対応、③緊急時の一時受入れの3点を提供しています。

事業開始から3年目となり利用登録者は現在47名。利用登録された多くの方が自宅を生活の拠点としており、日中は市内の事業所を利用されています。

当施設十字園は、全職員の物心両面の幸福を追求し、ご利用者、ご家族に最高の福祉サービスを提供します

一、施設価値を高め、地域、社会の進歩発展に貢献します

す。

コールセンターからびな ～事業の効果と今後の課題～

主任 平野 智也

「コールセンターからびなは「地域で暮らす障がい者を支える体制づくり事業」の実施機関の一つとして新潟市から委託された事業であり、地域で生活をされている障がいのある方に対し、24時間対応可能な相談窓口を設ける事で継続して安心した生活を送ることを目的としています。

本事業では、西区・南区・西蒲区を担当地域としており、主なサービスとして、①電話による相談対応、②自宅への訪問対応、③緊急時の一時受入れの3点を提供しています。

また、今後の課題としては更に増加すると予想される緊急時対応等の要望に、対応可能な支援体制を内部・外部で構築することであり、それが事業目的でもある継続して安心した生活の支援には必要不可欠であると考えています。

理念は策定して終わりではありません。職員に、しつこい程に伝えていくつもりです。

登録に至る理由では、夜間

に主たる支援者が急病等で不在になる場合、ご本人を一人で残してはいけないからという主訴が最も多く聞かれています。つまり、早急に必要ではないが、何かあつた時に支援してもらえるという認識で利用登録をされる方が多いのが現状です。

こういった状況を踏まえ、事業の実施が保護者の抱える不安の一部を和らげることができているという点が、事業の効果であると考えています。

また、今後の課題としては事業開始から3年目となり利用登録者は現在47名。利用登録された多くの方が自宅を生活の拠点としており、日中は市内の事業所を利用されています。

登録に至る理由では、夜間

ひのき寮

主任 伊藤孝之

今年度も皆さん元気で笑顔で、そして一人ひとりに合った生活が送れますよう、「余暇支援及び日中活動の充実」・「地域社会とふれあう機会を持つ」を目標に支援を進めていきたいと思います。

園の中ばかりでは息が詰まってしまいますので、外の空気を吸いに、余暇や外出の機会を多く持ちたいと思います。外を歩いたり、いつもとは違った雰囲気の中で美味しい食事やコーヒーを堪能出来ればと思います。

利用者の笑顔と、保護者の協力に支えられながら、今年度も職員一丸となって頑張っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

職員紹介



(志田)



ひのき寮懇談会には、15家族16名の保護者に参加して頂きました。資料を用い、今年度の寮の目標、昨年度のご利用者の様子等を説明させて頂き、昨年度の様子では、余暇支援で撮影した写真をご覧頂きました。外出先での皆さんの様子をご覧になつたご家族からは、「嬉しい」といったお言葉の他にも「今後も余暇でどんどん外出してほしい」といったご要望も頂きました。ご期待に添えるよう、努力して参ります。

懇談会

ひのき寮 行事 アウトドア



5月10日、ひのき寮行事がありました。天候にも恵まれ絶好のアウトドア日和。皆さん車に乗り、会場の紫雲寺記念公園へ出発！到着すると待ちに待ったバーベキューの始まりです。気持ちの良い自然の中での食事のせいか、皆さんいつにも増して美味しいように召し上がっていました。帰りの車中も和やかな雰囲気で帰途につきました。楽しいアウトドアの一日でした。（丸山）



いぶき寮

主任 藤田富美代

新年度がスタートしました。いつもご協力いただき、ありがとうございます。

普段ご家族の皆様とお話をさせて頂く中で、元気に過ごしてほしい、散歩をさせてほしい、こんなことが好き、あるいは苦手…色々なことを伺います。このやりとりを基に、楽しみを持つことや、その方らしい生活を送ることに繋げる支援ができたらと考えています。どんなことでもお声掛けください。

毎年書かせてもらっているのですが、お一人お一人の為のお手伝いをさせて頂きたくと思っています。一年間、よろしくお願い致します。

懇談会

今年度もいぶき寮懇談会を開催いたしました。10家族のご参加でした。

内容として、寮内における活動等を中心に伝えさせて頂き、その後は質疑応答となりました。

支援に対する希望や感謝のお言葉などを頂きましたが、その一つ一つを大切に、ご利用者の為にできることをしっかりと行つてきたいと強く思いました。まだまだ課題は沢山あります。

参加して頂いたご家族の皆様、ありがとうございました。(藤田(富))

佐々木



吉川

看護師
(ひのき寮と兼任)

吉川

中澤

松本

笠

西澤

羽部

林

職員紹介



堀内

山田

山際

いよべ
伊與部

『和』は高齢の利用者の方を中心とし、静かでゆったりとした環境で過ごしています。日常活動では、天気が良い日は一対一で歩行に出ています。また、テレビを観たり、午睡することもあります。

高齢の方や介助度の高い方が多いため、健康面も細やかに見るよう配慮しています。食事の面でも、ゆっくり丁寧に介助をすることができて、一人一人のペースに合わせた対応ができるのが和の特長です。(松本)



和の過ごし方



※和(なごみ)は、いぶき寮の一隔を使った和室でゆったりと過ごす活動場所です。



けやき寮

主任 高橋正人

今年度の寮支援目標は「日中活動、余暇活動を通じて外出する機会を増やす」「清潔な生活環境を提供する」の二点を重視し進めていきます。

この目標に至るひとつの経緯があります。それは、新年度が始まろうとしていた矢先の事。寮内で蔓延した嘔吐の連鎖で、長期間の寮閉鎖を余儀なくされました。外出も出来ない日々の中で、誰もが思った事は、毎日、健康で自分らしく充実した日々を送る事だと推測されます。

目まぐるしい毎日の体験と経験を活かし、寮職員一同取り組んで参りますので宜しくお願ひ致します。

職員紹介



けやき寮 スポーツ外出



5月12日、利用者さん5名の参加でラウンドワンに出かけました。まずボウリングをみんなで楽しみ、その後は射撃やテニス、ボクシングなど、それぞれが好きなゲームに夢中になっていました。小休止のジュースも人気でした。

昼食はラーメン、食後の喫茶はジェラートを食べて、みなさん満足そうな表情を浮かべていました。
(鈴木)



日中活動の様子



お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。
(平野)

けやき寮懇談会には、9家族9名の保護者が参加されました。内容については、職員紹介と今年度の目標などを中心に報告させていただきました。そのなかで、様々なご意見やご提案をいただけたことで保護者の方々と支援員とが連携して支援に努めることの大切さを再確認するきっかけになったと感じています。

懇談会



さつき寮

主任 小柳 雅美

さつき寮の今年度の目標は「自立支援（個別支援・個別外出の充実）～専門性のある支援～」です。

集団生活の中であっても、より少人数になるように環境面の配慮をしたり、生活面や日中活動・余暇などにおいて多くの選択肢の中から、ご自身が希望するものを見つけて頂けるように提案しています。また専門性という部分については、寮職員一丸となって専門的な支援手法を学び、実践しています。

今年度も皆様が望まれる生活により近づけるように、またより充実するようにお手伝いして参ります。



職員紹介



5月9日、4人の利用者さんと弥彦村にハイキングに出かけました。まずは、近くのスーパーでお買い物。皆さん、お買い物が大好きで、各自好きなものを選び、購入しました。弥彦までは、おやつも食べつつ、楽しみな気持ちでいっぱいです。

弥彦神社で参拝後、動物や花を見ながら弥彦散策。昼食は、弥彦公園内で食べました。晴天の下、食べるご飯は格別で楽しい外出となりました。（田中）



懇談会

さつき寮は17名のご家族に出席していただきました。昨年度から家族会費を活用して計画している、昼食外出を含めた余暇について、重点的にご説明するとともに、日々の生活の様子もお伝えいたしました。

ご家族の皆様からは園での生活についての質問をお受けしました。またリースのシットの清潔感や母の日のハガキについてお喜びの声も頂きました。

ご参加頂き、ありがとうございました。（小柳）



今年度はこの3人で運営していきます！

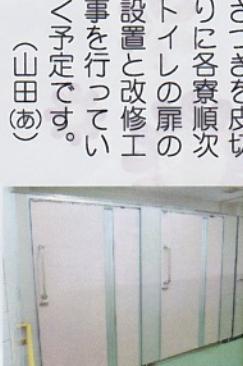
利用者さんは、毎日笑顔でめぐみに来られます。生活の場である十字園から日中活動の場のめぐみへ来るという事が、とても大切な事だと感じ取れます。そんな皆さん、安心して穏やかに過ごせる環境作りが一番重要な課題だと思います。

(二條)

めぐみの一日は元気な挨拶で始まります。4月から、めぐみに異動になり、利用者の皆さんと少しづつ打ち解けてきたように感じます。

●めぐみに来て感じた事

●さつき寮トイレ扉設置



向こうで排泄することは、抵抗があります。鍵付き扉が普通のことであり、人権も守ることになります。重度高齢化係と寮で構想を練り、ようやく実現されました。

さつきに、ピンクの素敵な扉が設置されました。利用者にも職員にも使い易く、好評です。

(山田あ)

各寮のトイレはカーテンで扉の代わりとしていました。カーテンには、利用者の把握のし易さ・車椅子や利用者自身の出入りもし易い等のメリットもありますが、自分自身に置き換えてみると、やはりカーテン一枚の

加藤 伸広さん

ひのき寮

H28・4・1入所



ひのき寮など
ひきり元気な方
が仲間入りしました。誰とでも仲良く話せる仲
広さんの笑顔はとても輝いています。車や音楽の知識は人一倍！夕方には正面玄関でコーヒーとお話を楽しんでいます。音楽やカラオケ、演歌が大好き
な方で素敵な歌声も披露してくれます。（担当代筆）

野崎 将和さん

まなかず
けやき寮

H28・5・9入所



新しい 利用者さんを ご紹介します！

笠倉 貢一さん

かさわ
ひのき寮

H28・6・1入所



6月に入所して
から数日間は慣れ
多く、言葉がなく、
親しあいづみ福
祉園に通いました。
こだわり、偏食が
多め、言葉がなく、
自分の気持ちを上手く伝えることが
できません。入所したことも理解
できていませんが元気に笑顔で、
園での生活を楽しんでいきたいと
思います。よろしくお願いします。

宮川 健一さん

けやき寮

H28・6・23入所



5月9日より
お世話になつて
あります。どう
ぞよろしくお願
いします。

他の人との関りが苦手で、ドラ
イブ、コーヒー、写真、雑誌をみ
ることが大好きです。一人で部屋
に居る事も好きなので、十字園の
皆さんと仲良くなり、楽しい生活
を送ってほしいと願っています。

(母代筆)

僕は健一、電車
が大好きです。線
路添いを走る時、
母は「電車やーー」と叫んで呼んでく
れけれど電車は来ません。ある日、
分水広域農道(保線)の山の上で11
時36分に右から左へ電車が僕の下
を「オー」と走って行きました。万
歳“ヤッタ”でも乗ったこと
はありません。宣しくお願ひしま
す。(母代筆)